

京文社TIME vol.2

KYOBUNSHA NEWS LETTER

CONTENTS

- 最新ニュース 1
- よもやまコラム 「文庫本には色がある」 2
- 四季読み「三月のライオン」 3
- スタッフから一言 3
- 製本豆知識 3
- すぼっと探訪 文京区「湯島天満宮」 4
- あとがき 4

2018. March

最新ニュース

「IT デジタル部門 本格始動！」

本年1月、「第二回事業発展計画発表会」を開催致しました。これからの新たな時代に必要とされる企業として、どの様なことをし、どの様に進んで行くかを発表致しました。

「印刷」を長年行ってきた弊社ではありますが、「情報処理」としてデジタル部門も充実して参りました。

紙への印刷物が必要であるのか、紙ではない方が便利なのか。その時々で選択してもらえる時代になりました。お客様の立場になり、情報をどの様に扱うのがベストなのかを考えています。

人が手で行っていた処理等を、IT デジタルを使って、省略化する方法はないか。もっと人がすべき事に時間を使うために、機械化出来る部分でIT デジタルを使えないだろうか。その様なことをお客様に寄り添い、お客様と共に事業を発展すべく、様々なアイデアを出し進めております。

IT デジタル部門も7年目に入り、皆様にご提供出来ることも、実績も益々増えております。IT デジタル部門を多くの皆様に知っていただき、ご利用いただくという2018年にしていきます。

平昌オリンピックで日本人選手が大活躍をして、人々に勇気・やる気をもたらしてくれました。若者が人生の半分以上の時間をその競技にかけ、日々努力を重ねています。ケガやアクシデントに見舞われてもそれに打ち克ち、勝利を手に行っている姿に感激致しました。

4月に新しい年度がスタートします。皆様と共に気持ちのよいスタートにしていきたいと思います。



今後の事業発展計画について発表

よもやま コラム

「文庫本には 色がある」

ノンフィクション作家佐々涼子氏の「紙をつなげ 彼らが本の紙を造っている」を読んだ。

3・11の大震災で壊滅的な被害を受けた日本製紙石巻工場の復興物語だ。

津波ですべての機械が瓦礫に埋まり、工場はつぶれてしまうのではとうわさもひろまっていた。その工場の中で出版用紙を抄造している8号マシンを半年で普及させ、さらに震災1年で一番大型のN6マシンを復旧させたドキュメンタリーである。N6マシンは1日で1,000トンもの紙を造っている。400万部を発行した「永遠の0」(百田尚樹著)は1冊280グラムなので、400万部というとならば1,120トンにもなる。

石巻工場や近隣の人の証言を積み重ね、読者に感動と勇気を与えてくれる1冊である。ぜひ、手にとって読んでいただきたい書籍である。

この本を読んで改めて「紙」というものについて考える機会を得た。まず、驚いたのが文庫本には「色」があるということである。黄色の講談社、赤の新潮社、オレンジの角川(角川オレンジと呼ばれる)。最近のデジタルメディアは指で操作するスマホやタブレットが主流で、液晶画面を指で「なぞる」(スワイプ、フリック、タップなどと呼ぶ)のが当たり前となっている。紙の本は「めくる」のである。ガラス面はみな同じだが、紙は出版社や書籍の種類によって異なる紙を用いて作られる。文庫は軽く、めくりやすく、まんがは嵩があるけど軽く、辞書はできるだけ薄くかつ裏写りしない、色、肌触り(触感)、めくり感等々出版社のこだわりがこめられている。



ご存知の通り、近年デジタル化が進んだ影響で出版業界はずっと右肩下がりになっている。2001年から2015年までの15年間で出版社の売上は4割以上落ち込んでいる。出版社も約1000社減り3500を下回っている。

紙の書籍はなくなり、電子書籍に取って代わられる運命なのだろうか？

そこで、紙とデジタルメディアを比較してみた。

■デジタルメディア

利点: 何と言っても**体積あたりの情報量の多さ**。小さなSDメモリーでも数十GBの容量を持っている。数千枚の写真、文字にしたら広辞苑(約1500万文字)が何十冊もはいる。情報の保存には欠かせないメディアである。また、何度コピーしてもデータの劣化がない。

欠点: 一番の欠点は読むための**リーダーが必要**ということだろう。USBメモリーでも、CD/DVDでも何らかの再生装置(電気機器)がないとただのプラスチックか金属の塊に過ぎない。

■紙

利点: **メディアそのものがリーダー**である。これが一番の利点だと思う。電気を必要とするパソコンやスマホがなくても見ることができる。それと、あまり気づかないかもしれないが、メディアとしての寿命はデジタルメディアを遙かに凌駕する超長寿命なのである。1000年保存できるメディアが他にあるだろうか。デジタルメディアはたとえばCDやUSBメモリーなども10年~30年の寿命と言われている。長期保存には、一定期間ごとにコピーを取る必要がある。紙の書籍には手触り感があり、存在感がある。書棚にならべるとその存在感はさらに増し、なんだか賢くなったような錯覚さえ覚える。

欠点: これはいうまでもなく、**嵩張ること**である。紙は重い。重くて嵩張るからこそ存在感があるのである。

有史時代、先史時代と言われるように歴史は文字をもって語られる。人類の文化も文字で語られる。ノーベル賞には文学賞がある。

歴史を紐解く、の紐解くは書籍を開いて読むことを意味する。スマホをタップすることではない。文字=文化であり、印刷された紙の書籍をめくるとき、紙とインクの匂いとともに文化の香りも感じてみてはいかがだろう。

四季読み

『三月のライオン』

藤井聡太六段の活躍で将棋界は羽生7冠以来の大ブームとなっています。

将棋の羽生永世7冠と囲碁の井山7冠が国民栄誉賞を受賞したこともあり、これからも囲碁・将棋ブームが続いていくことを期待しています。

囲碁ブームはマンガ「ヒカル碁」が発端となり、将棋はやはりマンガ「三月のライオン」が火付け役となりました。三月のライオンはイギリスのことわざ、「March comes in like a lion and goes out like a lamb」から取られています。意味は、「3月の気候は荒々しいライオンのようにやってきて、穏やかな子羊のように去る」。また、三月は順位戦の最終局が戦われ昇級・降級が決まることもあり、棋士がライオンのようになるとも言われています。



関東では三月から四月にかけてお花見のシーズンです。四月は、就職・進学・進級・転居など人生の節目を迎える人も多い季節です。

皆さまが、桜のように華やかな転機を迎えられることを心よりお祈り申し上げます。

スタッフから一言

こんにちは。制作部のMです。

早いもので、いぬ年の2018年もあっという間に3月に突入しました。

年齢を重ねると月日が過ぎるのがやたら速く感じます。これは「ジャンネーの法則」と言うそうです。最近では1年、2年どころか10年くらいも瞬く間。前回のいぬ年もついでの前だった気がします。

さて、犬と言えば、うちにはラヴィというメスのノーフォークテリアがいます。（弊社のオリジナルカレンダーのサイトにも登場します。）

ラヴィは、誕生日が有名なインド人シタール奏者ラヴィ・シャンカールの命日と同じ日だったので、ラヴィという名になりました。はい、メスなのにインド人のおっさんの名前です。

ちなみに営業部のF氏はラヴィと同じ誕生日です。



自己紹介

名	前	K. M
好きな食べ物		焼きたての餃子
嫌いな食べ物		ぬるいカレー
好きな言葉		自画自賛
嫌いな言葉		自己嫌悪
好きな製本		リング製本
嫌いな製本		特にありません

製本豆知識

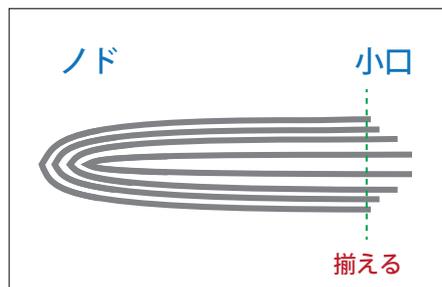
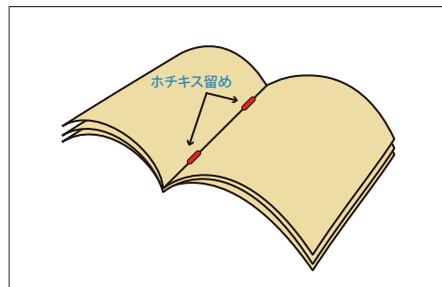
其ノ2

中綴じ製本

中綴じ製本とは紙を重ねて二つ折りにし、背の部分を針金で留める製本方式です。薄い冊子などはそれほどではありませんが、ページ数が多くなったり紙が厚くなってくると、小口側にずれが出てしまいます。これを避けるためにノド側のデータ位置をずらして小口側を揃える処理を行うことがあります（クリーブ処理）。

コピー用紙の場合1枚増えるごとに0.1mmほどずれます。例えば64ページの本だと最大1.6mmずれることとなりますが、コピー用紙程度の厚さでは気になるほどではありません。

一般的には、冊子に爪（インデックス）などがある場合には文字が切れないようにクリーブ処理を行います。絵柄や文字などが小口にある場合には4～5mm以上内側に配置していただいたほうが無難です。



すぽっと探訪
文京区「湯島天満宮」

学問成就！勝運アップ！ 都内屈指のパワースポット 『湯島天満宮』



湯島天満宮（湯島天神）は文京区湯島にある東京の代表的な天満宮であり、学問の神様として知られる菅原道真公を祀っています。受験シーズンには多くの受験生が合格祈願に訪れる神社として有名です。また、境内の梅の花も有名で、写真のように毎年2月から3月にかけて「梅まつり」が開催されています。

住 所：東京都文京区湯島 3-30-1
アクセス：湯島駅（千代田線）3番出口徒歩2分



編集後記

各地で猛烈な降雪が続き、大きな被害を及ぼした今冬。現地の方々には心よりお見舞い申し上げます。

自然の猛威と人の営みの対比を改めて考えさせられました。そんな中で迎えた平昌五輪ではアスリート達の奮闘には心から勇気付けられました。心身ともに凄まじい鍛錬を重ねてきたことでしょう。人間てこんなにすごいのか！と感動しましたね。

オリンピックを目指すことは言うまでもなく到底できませんが、日々の努力を重ねることで、個々人が、自分自身の金メダルを獲得できればいいですね。（もちろんドーピングは無しで！）（K. W）

2018年3月発行

 **KYOBUNSHA**
出版・印刷・デジタル 有限会社 京文社

〒112-0012 文京区大塚 6-32-5
TEL03-3943-4231
info@kyobunsha.biz
<http://www.kyobunsha.biz/>